

このまちの100年

「姫路」

飛鳥時代に国府が置かれ播磨国の中心地に。南北朝時代、姫山に初めて砦が築かれ、安土桃山時代に羽柴秀吉が築城し姫路城と命名、城下町も整備されました。現在の姫路城は江戸初期に整った城郭で、国宝・世界文化遺産となっています。



明治後期～大正初期

薬師山から見た姫路城西側の市街地。左の建物は姫路赤十字病院



大正期

二階町。江戸時代から二階建ての家屋が許されていたことが地名の由来



大正期

明治21年に山陽鉄道(現在の山陽本線)の駅として開業した姫路駅



大正15年頃

着物姿の人々が行き交う姫路駅前通り。日除けが施されていた



昭和30年代

国宝の姫路城天守閣よりみた姫路市の市街地。戦災から復興した姿



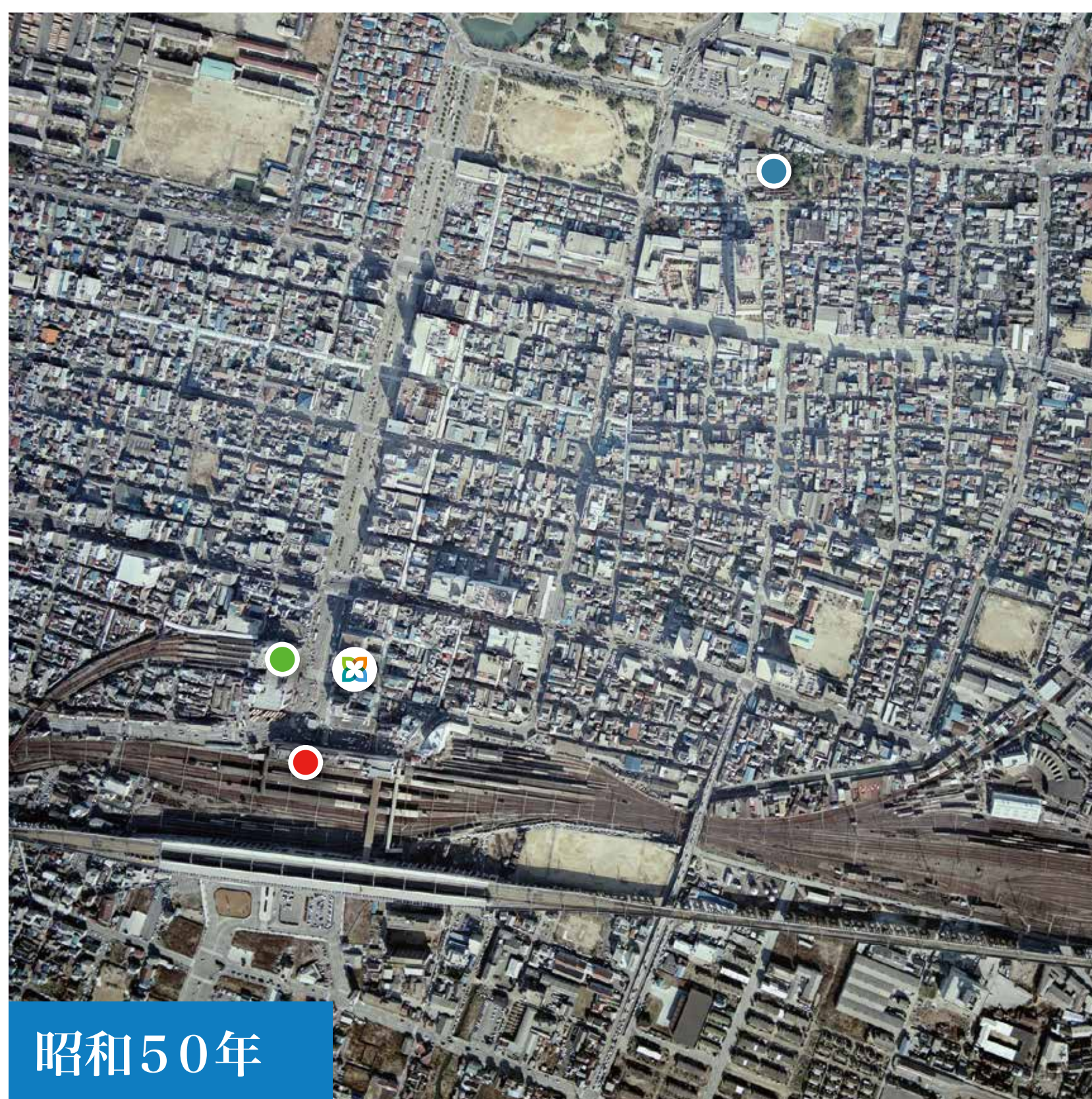
令和2年

白漆喰総塗籠造り城壁を持つ姫路城。シラサギの優美な姿にたとえ、白鷺城の愛称で親しまれる

上空からみた姫路エリア



昭和22年



昭和50年



平成22年

●：射楯兵主神社 ●：電鉄姫路駅／山陽姫路駅 ●：姫路駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ